

コーディネーターだより

令和7年6月6日 No.2

東京都立府中けやきの森学園校長 相賀 直
特別支援教育コーディネーター

【学校生活支援シート】を御活用ください

個別面談で学校生活支援シートについて、内容を御確認いただくなど、作成に御協力いただきありがとうございました。今週配布いたしました「学校生活支援シート」の活用によって、お子さんに関わる方々と、支援の目標や手立てを共有することができ、関わる人同士の共通理解や、お子さんが過ごしやすい環境を整えていくことにつながります。

今回のお便りでは、「学校生活支援シート」の活用方法について御紹介いたします。

「学校生活支援シート」は、

必要な指導や支援の手立て、子供に関わる人と人、本人や保護者の思いや願いを「つなぐ」シートです

- ◆教員（学校）と保護者を「つなぐ」
- ◆必要な指導や支援の手立てを「つなぐ」
- ◆本人及び保護者の思いや願いを「つなぐ」
- ◆子供に関わる人と人を「つなぐ」



お子さんや保護者の方が生活する上での様々な意向を大切に、現在の生活を把握する中で、「ライフステージを見通した支援」を考えていきます。

どうやって使うの？〈小学部編〉

「学校生活支援シート」をきっかけに環境づくりをする。

様々な社会資源を活用することにより
地域でより理解してもらおう。(ヘルパーや訪問看護等)

副籍による交流を含め、
地域といかに関わっていくかを考える。



放課後等デイサービスや
学童に、
学校での学習の様子や
生活における支援の手立てや
配慮事項を伝える。



医療機関との連携を図ることで、
学校が本人の状態を理解し、健康に留意
して安全な学校生活を送れるようにす
る。より良い指導ができるようにする。



小学部時代から培った人や社会資源とのつながりは、中学部・高等部・卒業後につながっていく。

どうやって使うの？〈中学部〉

「学校生活支援シート」を活用し、将来を見据えて現在の生活に必要なことを考えていく。

様々な社会資源を活用（ヘルパー・ボランティア・デイサービス・ショートステイ・医療機関・訓練やリハビリ等）することによって、沢山の社会的経験を積む。

沢山の経験をすることによって、社会性を身につけていく。現在の生活に必要なことや、これからの課題を明らかにしていく。

社会資源は他にこんなものも・・・

- ・民生委員 ・児童委員
- ・親の会
- ・ボランティアセンター
- ・教育センター
- ・NPO法人
- ・社会福祉協議会 等



福祉課で、サービスの利用を新たに相談・申請する時に、どんな支援が必要かを伝えられる。



中学部で培った社会性により、高等部で進路選択の際に活用できる力や、地域社会で生きる力がついていく。

どうやって使うの？〈高等部〉

「学校生活支援シート」を活用して、将来の生活を考える。

小学部、中学部で培った力を十分に発揮し、進路先や社会で必要なことを具体的に身につける。

社会人として地域といかに関わっていくのか、将来の生活を考える。

学校から進路先へのスムーズな移行のため、進路先と連携し、ケース会を開いて引継ぎを行う。



学校生活で身につけたことや引き続き支援が必要なことについて伝えていく。

障害年金の申請等の書類を作成する際に、活用する。

学校生活で培った力を発揮していくにはどんな支援が必要か、引継ぎのツールとなる。

就労先への移行支援は「個別の移行支援計画」として活用していく。



自治体によっては、乳幼児期から青年期まで一貫して継続的な支援体制を築くことを目的に、お子さんの成長や支援に関する情報をひとつにまとめていくサポートファイルを作成し、活用を勧めているところもあります。

既にお持ちであれば、そのファイルと合わせて保管、御活用ください。